

# まちな動き MOVE



## 3/8 支えあう地域づくり

「第23回めむろ女性のつどい」が中央公民館で開催され、70人が参加しました。「くりやまエコマネー」研究会の長谷川誓一さん、村上涉さんの講演会や実技が行われ、参加者同士で肩もみなどの支援を行ってエコマネーの使い方を体験しました。

## 3/11 派遣交流、中止へ

毎年3月下旬に米国・トレーシー市へ派遣していた中学生国際姉妹都市交流が、今年は中止となり、3月19日に解散式を行いました。米国がイラク攻撃への準備を進める中、生徒の安全を考慮しての決断でした。

5月にはトレーシー市から中学生が来町する予定ですが、中止される可能性もあり、今後の情勢が注目されます。



## 3/15 経済の発展に期待

高規格道路・帯広尾自動車道「帯広JCT(ジャンクション)～帯広川西IC(インターチェンジ)間」(延長17km)の開通式が行われ、関係者など約200人が出席しました。

テープカットの後、関係者車両が記念パレードを行い、開通を祝いました。



## 3/24 地域活動の拠点へ

新しく完成した南地区コミュニティセンターの見学会が行われ、多くの町民が訪れました。この施設は、南が丘地区の宅地造成による人口増の影響で、手狭になった鉄南地区児童館の代替施設として建設されたもので、4月1日から利用可能となっています。

なお、鉄南地区児童館は4月1日から、つつな児童保育所として活用しています。



## 3/24~26 「心の健康フェスティバル」の作品展示

心の健康フェスティバル移動作品展と移動喫茶が、保健福祉センター(あいあい21)で開催されました。

会場には精神科のデイケアとして行われている「社会復帰学級」生徒が制作した手芸品や工芸品など20点が展示され、訪れた人は足を止めて作品に見入っていました。また、26日の移動喫茶ではコーヒーが安価で提供され、くつろぎながら話している姿も見られました。



## 3/21 子育ての活動に理解と関心を

「子どもフェスタ」が健康プラザで開催され、多くの親子連れが会場を訪れました。民間の子育て団体や行政が行っている活動を多くの町民に知ってもらい、子育てネットワークづくりに役立ててもらうことを目的として、初めて開催されたものです。

小動物とのふれあいコーナーやカプラで遊ぶコーナーが特に人気で、子どもたちもとても楽しそうに遊んでいました。



## 4/1 新任医師が着任

公立芽室病院に新しく3人の医師が着任しました。中陳<sup>なかじん</sup>欣<sup>きん</sup>也<sup>や</sup>産婦人科医長(51)は「地域の皆さんのために役立つよう頑張りたい」、加藤<sup>かとう</sup>一<sup>かずのり</sup>規<sup>のり</sup>内科医員(40)は「分野が幅広くなるので対応できる能力を身に付けたい」、山口<sup>やまぐち</sup>基<sup>もと</sup>外科医員(29)は「今まで受け継がれてきたものを続けていくように頑張りたい」と、それぞれ抱負を語りました。

これからの活躍に期待が寄せられます。

